

# S I D R

(滋賀県感染症情報)

SHIGA Infectious Diseases Report

〈月報〉  
平成 20年 2月  
(第6～9週)

発行年月日：平成20年(2008年) 3月14日  
発行 行：滋賀県衛生科学センター内  
滋賀県感染症情報センター  
電話 077-537-7438 FAX 077-537-5548

## 1) 全数報告の感染症(一類～五類)

全国の医療機関において、医師が感染症法で定められている一～四類および五類感染症に該当する患者を診断したとき医師は保健所に届出ることになっています。このことを全数報告といえます。また、届出により全国または滋賀県で発生している感染症法で定められた一～四類および五類感染症を把握することができます。

感染症 類型	疾 病 名	平成 20年				平成 19年		感染症 類型	疾 病 名	平成 20年				平成 19年		
		1月		2月		1～12月				1月		2月		1～12月		
		滋賀県	全国	滋賀県	全国	滋賀県	全国			滋賀県	全国	滋賀県	全国	滋賀県	全国	
一類	エボラ出血熱	0	0	0	0	0	0	四類	ニパウイルス感染症	0	0	0	0	6	0	0
	クリミア・コンゴ出血熱	0	0	0	0	0	0		日本紅斑熱	0	1	0	0	0	98	
	痘そう	0	0	0	0	0	0		日本脳炎	0	0	0	0	0	10	
	南米出血熱(*)	0	0	0	0	0	0		ハンタウイルス肺症候群	0	0	0	0	0	0	
	ペスト	0	0	0	0	0	0		Bウイルス病	0	0	0	0	0	0	
	マールブルグ病	0	0	0	0	0	0		鼻疽(*)	0	0	0	0	0	0	
	ラッサ熱	0	0	0	0	0	0		ブルセラ症	0	0	0	0	0	1	
二類	急性灰白髄炎	0	0	0	1	0	0	ベネズエラウマ脳炎(*)	0	0	0	0	0	0		
	結核(*)	16	1,643	23	1,829	178	20,151	ヘンドラウイルス感染症(*)	0	0	0	0	0	0		
	ジフテリア	0	0	0	0	0	0	発しんチフス	0	0	0	0	0	0		
	重症急性呼吸器症候群	0	0	0	0	0	0	ボツリヌス症	0	0	0	0	0	3		
三類	コレラ	0	1	0	1	0	12	マラリア	0	3	0	2	1	52		
	細菌性赤痢	0	34	0	14	2	450	野兔病	0	0	0	1	0	0		
	腸管出血性大腸菌感染症	2	63	0	46	55	4,586	ライム病	0	0	0	1	0	12		
	腸チフス	0	3	0	4	0	47	リッサウイルス感染症	0	0	0	0	0	0		
四類	バラチフス	0	2	0	4	1	22	リフトバレー熱(*)	0	0	0	0	0	0		
	E型肝炎	0	3	0	6	1	54	類鼻疽(*)	0	0	0	0	0	0		
	ウエストナイル熱	0	0	0	0	0	0	レジオネラ症	2	75	0	55	8	655		
	A型肝炎	0	21	0	14	1	154	レプトスピラ症	0	0	0	0	0	34		
	エキノコックス症	0	1	0	3	0	16	ロッキー山紅斑熱(*)	0	0	0	0	0	0		
	黄熱	0	0	0	0	0	0	五類	アメーバ赤痢	0	62	1	66	15	781	
	オウム病	0	0	0	0	0	30		ウイルス性肝炎	1	21	0	13	2	231	
	オムスク出血熱(*)	0	0	0	0	0	0		急性脳炎	0	25	0	18	2	216	
	回帰熱	0	0	0	0	0	0		クリプトスポリジウム症	0	0	0	0	0	6	
	キャサナル森林病(*)	0	0	0	0	0	0		クロイツフェルト・ヤコブ病	0	9	0	13	4	148	
	Q熱	0	0	0	0	0	7		劇症型溶血性レンサ球菌感染症	0	10	0	9	1	96	
	狂犬病	0	0	0	0	0	0		後天性免疫不全症候群	0	89	2	115	9	1,449	
	コクシジオイデス症	0	0	0	0	0	3		ジアルジア症	0	6	1	4	1	56	
	サル痘	0	0	0	0	0	0		髄膜炎菌性髄膜炎	0	1	0	2	0	17	
	腎症候性出血熱	0	0	0	0	0	0		先天性風疹症候群	0	0	0	0	0	0	
	西部ウマ脳炎(*)	0	0	0	0	0	0		梅毒	0	45	1	70	2	714	
	ダニ媒介脳炎(*)	0	0	0	0	0	0		破傷風	0	5	0	6	0	88	
	炭疽	0	0	0	0	0	0		バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症	0	0	0	0	0	0	
	つつが虫病	0	29	0	9	0	370		バンコマイシン耐性腸球菌感染症	0	6	0	2	0	80	
デング熱	0	6	1	5	1	89	風しん		0	36	0	37	-	-		
東部ウマ脳炎(*)	0	0	0	0	0	0	麻しん		0	1,164	1	2,016	-	-		
鳥インフルエンザ	0	0	0	0	0	0										

(\*)：平成19年4月1日から集計 -：平成19年は定点把握対象疾患のため未集計

### 滋賀県における全数報告 感染症の概要(2月)

#### <結核>

性別：男性 14名、女性 9名  
類型：患者 22名  
疑似症患者 1名  
病型：肺結核 17名  
その他の結核 6名

#### <デング熱> 男性・40歳

推定感染経路は蚊による感染で、  
感染地域(確定)はベトナムです。

#### <アメーバ赤痢> 男性・48歳

推定感染経路は不明で、推定感染  
地域はベトナムおよびタイです。

#### <後天性免疫不全症候群>

男性・52歳、男性・52歳

推定感染経路は同性間性的接触  
および不明で、推定感染地域は2名  
とも日本国内です。

#### <ジアルジア症> 女性・81歳

推定感染経路は経口感染で、推  
定感染地域は日本国内です。

#### <梅毒> 男性・57歳

推定感染経路は異性間性的接触  
で、推定感染地域は日本国内です。

#### <麻しん> 男性・24歳

推定感染経路は飛沫・飛沫核感染  
で、推定感染地域は日本国内です。  
なお、ワクチン接種歴は不明です。

\*1 検疫法第26条の3に基づく検疫所長から滋賀県知事への通知分1件を含む

## 2) 定点把握の対象となる五類感染症

感染症発生動向調査事業に係る報告のうち、滋賀県が指定した「指定届出機関」を定点医療機関(定点)といい、その定点から報告される感染症を定点把握対象感染症といい、また、定点当たり患者数とは、一週間を単位として一カ所の定点から何人の患者が報告されているかを示したものです(患者報告数/定点医療機関数)。例えば、一つの疾患(インフルエンザ等)について、一週間に53カ所の定点から総数53人の報告があれば、定点当たり患者数は1.00となります(疾患により定点数は異なります)。また、疾患によりインフルエンザ定点、小児科定点、眼科定点および基幹定点に分かれています。

### 2月の概要

#### <インフルエンザ>

第3週(1/14~1/20)に発令されたインフルエンザの注意報は、第9週(2/25~3/2)にはすべての保健所管内の定点当たり患者数が「感染症発生動向調査に基づく感染症の警報・注意報システム」における注意報発生基準値(10.0)未滿となったため解除されました。また、第6週(2/4~2/10)にはインフルエンザウイルスB型が検出されました。

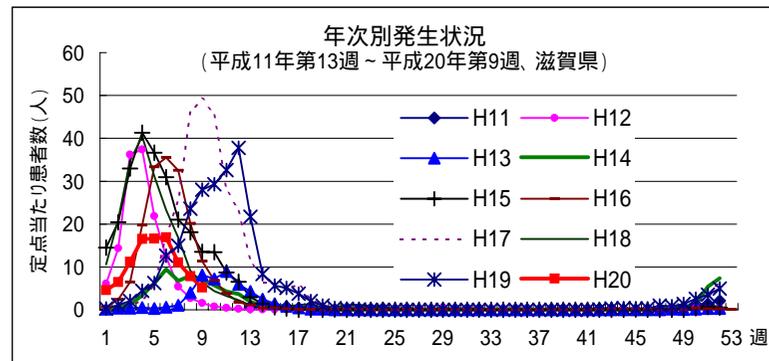
#### <小児科定点疾患>

各疾患の発生状況については疾病別定点当たり患者数のグラフに示すとおりですが、先月より増加した疾患は咽頭結膜熱(プール熱)およびA群溶レン菌咽頭炎でした。その他の疾患については横ばいまたは減少となっていました。長浜では第6~8週(2/4~2/24)にインフルエンザの定点当たり患者数が警報発生基準値を超えていました。さらに、第6週にも咽頭結膜熱の定点当たり患者数が警報発生基準値を超えていました。草津では第7週(2/11~2/17)および第9週(2/25~3/2)に水痘の定点当たり患者数が注意報発生基準値を超えていました。また、甲賀では第7週に水痘の定点当たり患者数が注意報発生基準値を超えていました。

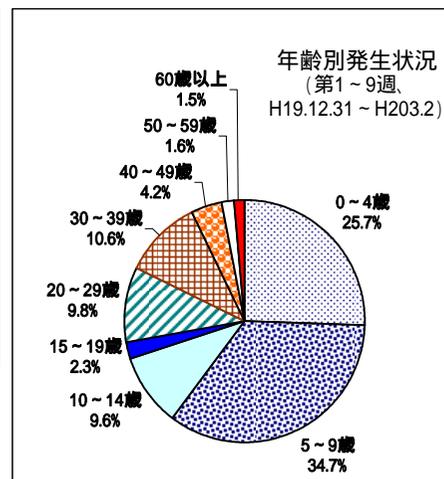
#### <眼科定点疾患> <基幹定点疾患>

眼科定点疾患である流行性角結膜炎は先月とほぼ同様で、草津、甲賀および高島からの報告がありました。急性出血性結膜炎の報告はありませんでした。また、基幹定点疾患である細菌性髄膜炎および無菌性髄膜炎の報告はありませんでした。マイコプラズマ肺炎は先月より減少していましたが、長浜からの報告がやや多くなっていました。クラミジア肺炎の報告はありませんでした。

### インフルエンザの発生状況



過去10年における年次別発生状況を比較すると、平成20年第1~9週は平成13年および平成14年に次ぐ3番目に少ない発生でした。また、年齢別では5~9歳 34.7%、0~4歳 25.7%、30~39歳 10.6%、20~29歳 9.8%、10~14歳 9.6%の順に多くなっています。



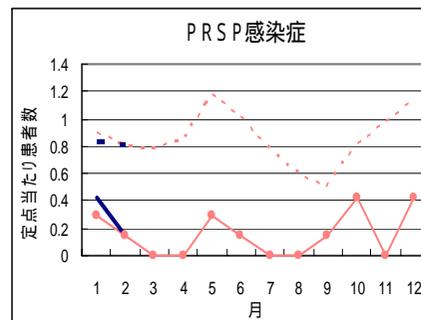
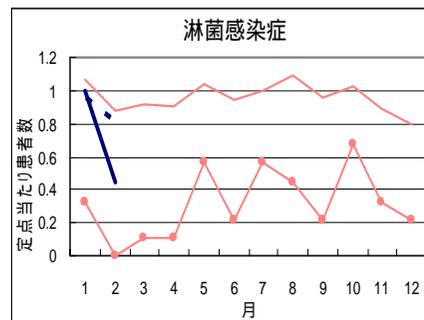
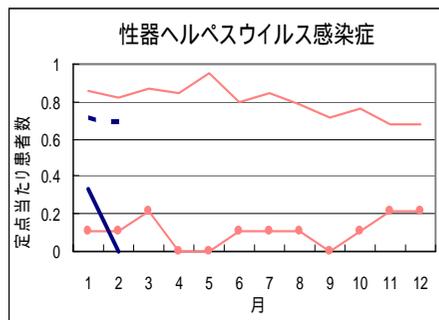
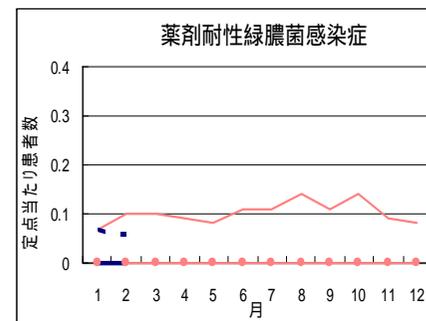
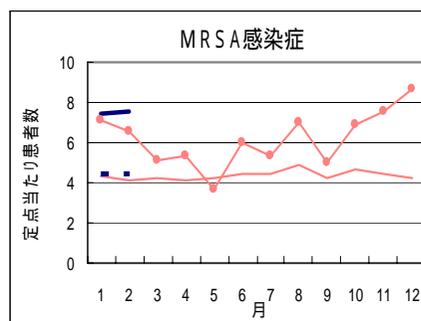
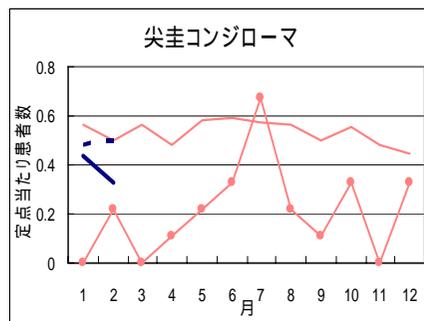
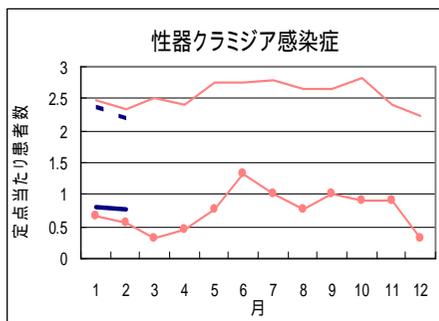
#### <各定点の対象疾患>

定点	疾患名
インフルエンザ定点	インフルエンザ
小児科定点	RSウイルス感染症、咽頭結膜熱 A群溶レン菌咽頭炎、水痘 感染性胃腸炎、手足口病 伝染性紅斑(リンゴ病)、百日咳 突発性発しん、ヘルパンギーナ 流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)
眼科定点	急性出血性結膜炎 流行性角結膜炎
基幹定点	細菌性髄膜炎、無菌性髄膜炎 マイコプラズマ肺炎 クラミジア肺炎(オウム病を除く)

全国集計などの詳細な集計結果は、国立感染症研究所感染症情報センターのホームページ(<http://idsc.nih.go.jp/index-j.html>)において公表されています。

### 3) 性感染症定点および基幹定点における疾病別発生状況(平成20年 2月)

疾患名	区分	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
性器クラミジア感染症	罹患数	7	7											14
	定点当たり	0.78	0.78											1.56
性器ヘルペスウイルス感染症	罹患数	3	0											3
	定点当たり	0.33	0											0.33
尖圭コンジローマ	罹患数	4	3											7
	定点当たり	0.44	0.33											0.77
淋菌感染症	罹患数	9	4											13
	定点当たり	1.00	0.44											1.44
メチシリン耐性 黄色ブドウ球菌感染症	罹患数	52	53											105
	定点当たり	7.43	7.57											15.00
ペニシリン耐性 肺炎球菌感染症	罹患数	3	1											4
	定点当たり	0.43	0.14											0.57
薬剤耐性緑膿菌感染症	罹患数	0	0											0
	定点当たり	0	0											0



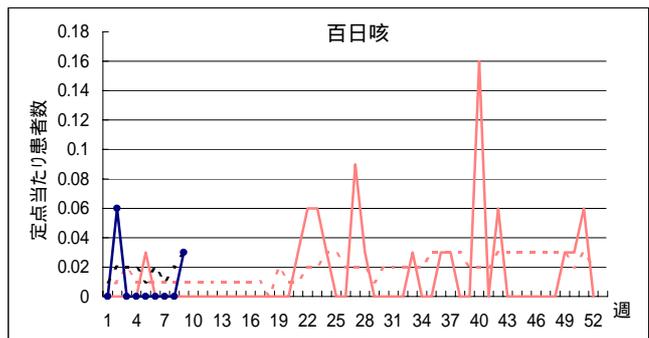
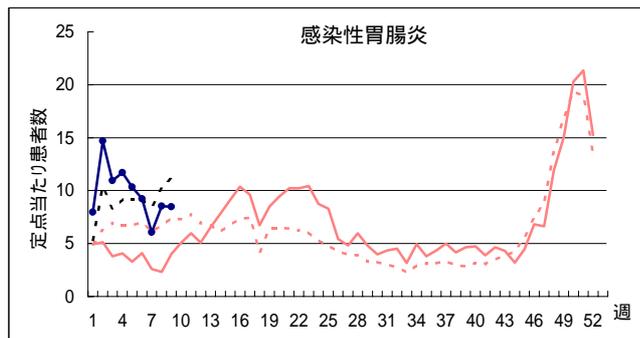
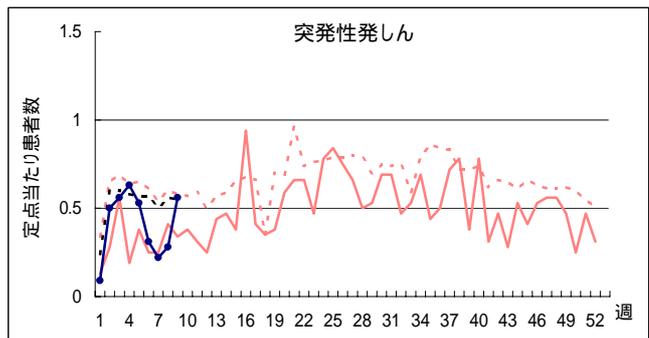
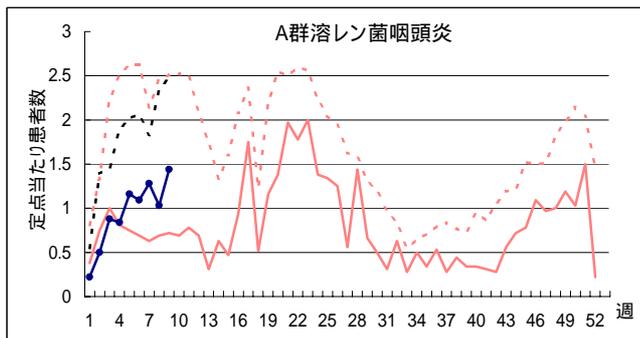
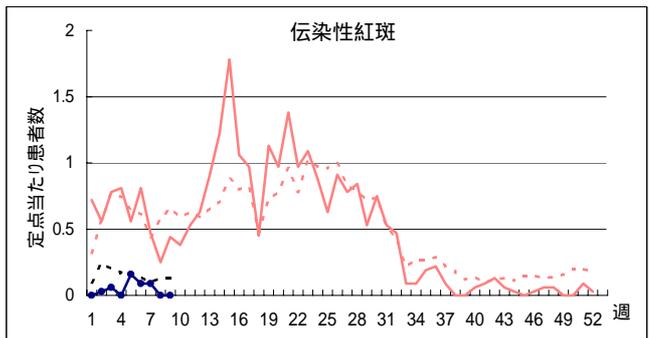
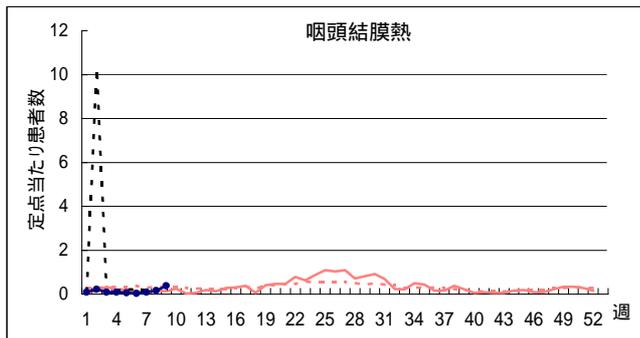
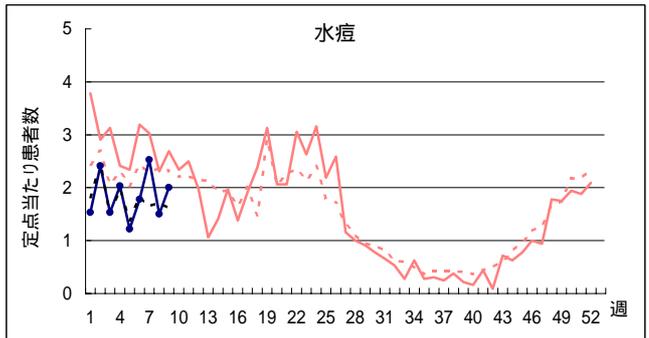
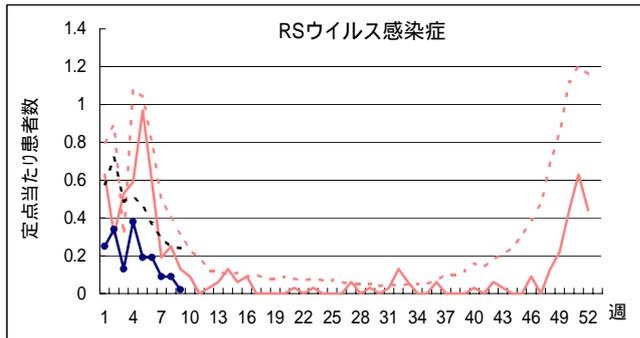
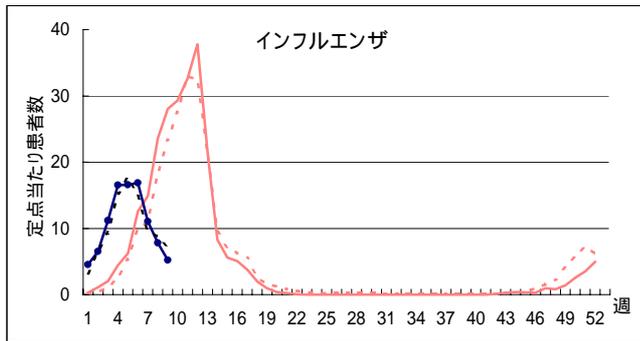
戻る

H19 { 滋賀 ●●●●●  
全国 ○○○○○  
H20 { 滋賀 ■■■■■  
全国 ●●●●●

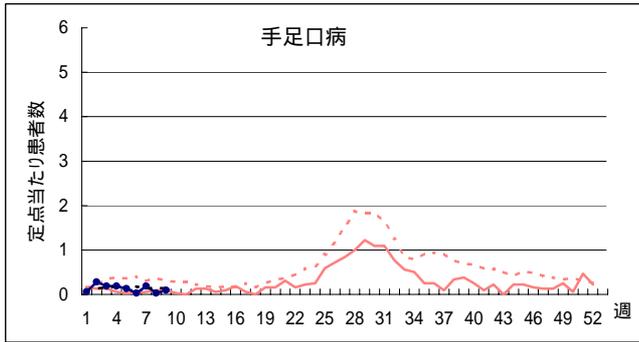
MRSA:メチシリン耐性黄色ブドウ球菌  
PRSP:ペニシリン耐性肺炎球菌



# 疾病別定点当たり患者数(平成20年第9週、H19.12.31~H20.3.2)



# 疾病別定点当たり患者数(平成20年第9週、H19.12.31～H20.3.2)



H19  
 〔 滋賀 ————  
     全国 - - - - -  
 H20  
 〔 滋賀 ●●●●●  
     全国 .....

